



## 2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年11月9日

上場取引所 東 札

上場会社名 クワザワホールディングス株式会社

コード番号 8104 URL <https://www.kuwazawa-hd.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 桑澤 嘉英

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 信太 孝樹 TEL 011-860-5080

四半期報告書提出予定日 2023年11月10日

配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第2四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	32,406	6.6	448	11.8	563	0.9	316	3.5
2023年3月期第2四半期	30,396	6.0	400	59.1	558	64.6	305	120.2

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 382百万円 (21.7%) 2023年3月期第2四半期 313百万円 (248.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	21.06	-
2023年3月期第2四半期	20.35	-

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	44,265	14,911	33.4
2023年3月期	40,138	14,704	36.4

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 14,798百万円 2023年3月期 14,597百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	-	0.00	-	12.00	12.00
2024年3月期	-	0.00	-	-	-
2024年3月期（予想）	-	-	-	10.00	10.00

(注) 1 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2 2023年3月期期末配当金の内訳 普通配当 10円00銭 記念配当 2円00銭

### 3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	65,000	1.1	950	11.3	1,100	1.5	650	8.1	43.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	16,694,496株	2023年3月期	16,694,496株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	1,656,992株	2023年3月期	1,665,395株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	15,031,858株	2023年3月期2Q	15,029,138株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	9
(セグメント情報) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症が5類に移行するなど経済社会活動の正常化が進むに従い、景気は緩やかな回復基調で推移しました。しかしながら、ウクライナ情勢の長期化に起因したエネルギー・原材料価格の高騰や円安による物価上昇に加え、欧米諸国の金融引き締めが世界景気の減速リスクとして懸念される中、中東情勢の緊迫化も相まって、先行き不透明な状況が続きました。

当社グループの位置する建設関連業界におきましては、労務費の高騰や資材価格の高止まりなど建設コストが上昇する厳しい経営環境の中、新設住宅着工戸数が減少した一方、民間投資や公共投資は堅調に推移しました。

このような環境において当社グループは、顧客獲得及び販売シェア拡大に向けた積極的な営業活動の展開、リニューアル・土木市場の強化、施工体制の拡充、PB商品の開発・拡販、既存取引先との関係強化を実施しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は売上高324億6百万円（前年同期比6.6%増）、営業利益4億48百万円（同11.8%増）、経常利益5億63百万円（同0.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益3億16百万円（同3.5%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### (建設資材)

建設資材売上は新型コロナウイルス感染症による行動制限が緩和されたことにより、積極的な営業活動を展開することができ、顧客との信頼関係を維持・構築するとともに販売シェア拡大に努め好調に推移しました。また、基礎資材売上は主力市場である北海道において堅調に推移した結果、売上高は167億87百万円（前年同期比1.7%増）、セグメント利益は2億21百万円（同13.8%増）となりました。

#### (建設工事)

施工体制の整備・拡充を推し進めたことにより、主力市場である北海道や東北エリアを中心に大型物件を含む工事の受注が好調に推移したことに加え、利益率の改善に努めた結果、売上高は134億97百万円（前年同期比14.6%増）、セグメント利益は37百万円（前年同期はセグメント損失18百万円）となりました。なお、建設工事の完工時期が下期中心となるため、利益面において著しく低下する季節特性があります。

#### (資材運送)

資材運送全体では前年と同水準で底堅く推移し、経費削減など利益率の改善に努めた結果、売上高は18億34百万円（前年同期比0.1%増）、セグメント利益は1億40百万円（同9.9%増）となりました。

#### (不動産賃貸)

賃貸収入が安定的に推移したものの、修繕費などが増加した結果、売上高は1億31百万円（前年同期比1.4%増）、セグメント利益は86百万円（同3.8%減）となりました。

#### (その他)

太陽光発電事業が順調に推移した結果、売上高は1億54百万円（前年同期比1.8%増）、セグメント利益は43百万円（同0.1%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比べ41億26百万円増加して442億65百万円となりました。流動資産は同39億37百万円増加して347億55百万円、固定資産は同1億89百万円増加して95億9百万円となりました。流動資産の増加の主なもの、受取手形、売掛金及び契約資産や電子記録債権の増加によるものであります。固定資産のうち有形固定資産は、同1億43百万円減少して63億23百万円となりました。無形固定資産は、同1億91百万円増加して3億39百万円となりました。投資その他の資産は、同1億40百万円増加して28億45百万円となりました。固定資産の増加の主なものは、無形固定資産に含まれているソフトウェア仮勘定の増加によるものであります。

#### (負債の状況)

当第2四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末と比べ39億20百万円増加して293億54百万円となりました。流動負債は、同30億53百万円増加して257億71百万円となりました。流動負債の増加の主なものは、支払手形及び買掛金や電子記録債務の増加によるものであります。固定負債は同8億67百万円増加して35億82百万円となりました。固定負債の増加の主なものは、長期借入金の増加によるものであります。

#### (純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末と比べ2億6百万円増加して149億11百万円となりました。この増加の主なものは、利益剰余金の増加によるものであります。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の36.4%から33.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2023年5月15日の「2023年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,604	6,450
受取手形、売掛金及び契約資産	16,272	19,998
電子記録債権	3,322	4,907
商品及び製品	646	733
販売用不動産	971	1,231
未成工事支出金	478	675
原材料及び貯蔵品	97	116
その他	462	683
貸倒引当金	△38	△40
流動資産合計	30,818	34,755
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,941	2,855
土地	3,096	3,095
その他（純額）	429	372
有形固定資産合計	6,467	6,323
無形固定資産		
その他	148	339
無形固定資産合計	148	339
投資その他の資産		
退職給付に係る資産	137	142
その他	2,673	2,793
貸倒引当金	△107	△90
投資その他の資産合計	2,704	2,845
固定資産合計	9,319	9,509
資産合計	40,138	44,265

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,862	13,777
電子記録債務	8,172	9,584
短期借入金	30	30
1年内返済予定の長期借入金	1,773	470
未払法人税等	284	285
賞与引当金	205	290
工事損失引当金	—	1
完成工事補償引当金	30	30
その他	1,358	1,300
流動負債合計	22,717	25,771
固定負債		
長期借入金	1,305	2,219
退職給付に係る負債	93	92
資産除去債務	23	22
厚生年金基金解散損失引当金	224	224
その他	1,068	1,023
固定負債合計	2,715	3,582
負債合計	25,433	29,354
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	417	417
資本剰余金	326	328
利益剰余金	14,130	14,266
自己株式	△446	△444
株主資本合計	14,426	14,566
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	239	296
退職給付に係る調整累計額	△69	△65
その他の包括利益累計額合計	170	231
非支配株主持分	107	112
純資産合計	14,704	14,911
負債純資産合計	40,138	44,265

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	30,396	32,406
売上原価	26,445	28,287
売上総利益	3,951	4,118
販売費及び一般管理費		
給料手当及び賞与	1,607	1,620
その他	1,943	2,049
販売費及び一般管理費合計	3,550	3,669
営業利益	400	448
営業外収益		
受取利息	17	18
受取配当金	22	25
持分法による投資利益	30	41
保険解約返戻金	39	—
雑収入	85	61
営業外収益合計	196	146
営業外費用		
支払利息	30	27
債権売却損	0	—
雑損失	8	3
営業外費用合計	39	30
経常利益	558	563
特別利益		
固定資産売却益	7	0
投資有価証券売却益	—	0
特別利益合計	7	0
特別損失		
固定資産売却損	—	0
固定資産除却損	0	1
投資有価証券評価損	0	—
減損損失	0	—
特別損失合計	1	2
税金等調整前四半期純利益	564	562
法人税等	254	241
四半期純利益	310	321
非支配株主に帰属する四半期純利益	4	4
親会社株主に帰属する四半期純利益	305	316

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	310	321
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	57
退職給付に係る調整額	3	3
その他の包括利益合計	3	61
四半期包括利益	313	382
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	309	377
非支配株主に係る四半期包括利益	4	4

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	564	562
減価償却費	205	190
減損損失	0	—
受取利息及び受取配当金	△40	△44
支払利息	30	27
持分法による投資損益 (△は益)	△30	△41
有形固定資産除売却損益 (△は益)	△7	1
保険解約返戻金	△39	—
売上債権及び契約資産の増減額 (△は増加)	△5,327	△5,306
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△803	△561
その他の資産の増減額 (△は増加)	△147	113
仕入債務の増減額 (△は減少)	5,087	4,388
未成工事受入金の増減額 (△は減少)	192	91
その他の負債の増減額 (△は減少)	△104	△77
その他	62	△228
小計	△357	△884
利息及び配当金の受取額	40	44
利息の支払額	△30	△23
法人税等の支払額	△141	△310
持分法適用会社からの配当金の受取額	6	8
営業活動によるキャッシュ・フロー	△480	△1,165
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	—	△0
固定資産の取得による支出	△93	△248
固定資産の売却による収入	7	1
固定資産の除却による支出	—	△1
資産除去債務の履行による支出	—	△1
投資有価証券の取得による支出	△4	△4
投資有価証券の売却による収入	—	0
非連結子会社株式の取得による支出	—	△93
保険積立金の解約による収入	39	—
貸付けによる支出	△63	△40
貸付金の回収による収入	34	5
投資活動によるキャッシュ・フロー	△79	△382
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	—	1,150
長期借入金の返済による支出	△245	△1,538
自己株式の取得による支出	—	△0
配当金の支払額	△150	△180
リース債務の返済による支出	△42	△37
財務活動によるキャッシュ・フロー	△438	△606
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△998	△2,153
現金及び現金同等物の期首残高	8,085	8,588
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,086	6,435

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

## (セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 3
	建設資材	建設工事	資材運送	不動産 賃貸	計				
売上高									
一時点で移転さ れる財	16,372	5,916	1,825	—	24,113	151	24,265	—	24,265
一定の期間にわ たり移転される 財	134	5,859	—	—	5,994	—	5,994	—	5,994
顧客との契約か ら生じる収益	16,506	11,776	1,825	—	30,108	151	30,259	—	30,259
その他の収益	—	—	6	130	136	—	136	—	136
外部顧客への売 上高	16,506	11,776	1,831	130	30,244	151	30,396	—	30,396
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	514	149	154	103	922	0	922	△922	—
計	17,021	11,925	1,986	233	31,167	151	31,318	△922	30,396
セグメント利益 又は損失(△)	194	△18	128	90	394	43	437	△37	400

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電事業、保険代理店事業及び車両整備事業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△37百万円には、セグメント間取引消去△268百万円、各報告セグメントに配分していない全社利益231百万円が含まれております。全社利益は、主に報告セグメントに帰属しない持株会社の収益及び一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 3
	建設資材	建設工事	資材運送	不動産 賃貸	計				
売上高									
一時点で移転される財	16,722	5,366	1,828	—	23,917	154	24,071	—	24,071
一定の期間にわたり移転される財	65	8,130	—	—	8,196	—	8,196	—	8,196
顧客との契約から生じる収益	16,787	13,497	1,828	—	32,114	154	32,268	—	32,268
その他の収益	—	—	5	131	137	—	137	—	137
外部顧客への売上高	16,787	13,497	1,834	131	32,251	154	32,406	—	32,406
セグメント間の内部売上高又は振替高	607	141	154	99	1,002	—	1,002	△1,002	—
計	17,394	13,639	1,989	231	33,254	154	33,409	△1,002	32,406
セグメント利益	221	37	140	86	486	43	530	△82	448

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電事業、保険代理店事業及び車両整備事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△82百万円には、セグメント間取引消去△205百万円、各報告セグメントに配分していない全社利益122百万円が含まれております。全社利益は、主に報告セグメントに帰属しない持株会社の収益及び一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。